



法と経済学研究

Law and Economics Review

Sep 2019

15 卷 1 号

法と経済学会

Japan Law and Economics Association

目 次

◆ 法と経済学会・第 17 回全国大会講演報告

- シンポジウム 企画 1 1
『EBPM と法と経済学』
 チェア 荒井 弘毅 (秀明大学)
 パネリスト 川口 大司 (東京大学教授)
 内山 融 (東京大学大学院総合文化研究科教授)
 鶴代 隆造 (警察庁長官官房参事官)
 三浦 聡 (前・経済産業省大臣官房政策評価広報課長)
- シンポジウム 企画 2 (英語講演 ※当日講演資料等により作成) 16
『Intellectual Property and Competition Policy』
 (北海道大学・大野科研共催) 企画: 青木 玲子 (公正取引委員会)
 チェア 大野 由夏 (北海道大学)
 パネリスト Luis Cabral (NYU)
 Michael Katz (UC Berkeley)
 鈴木 将文 (名古屋大学)
 白石 忠志 (東京大学)
 久保 研介 (慶応大学)
- 招待講演 1 (英語講演) 56
『Convergence and then Downstream Divergence』
 Saul Levmore 教授 (University of Chicago
 President, American Law and Economics Association)
 司会: 田中 亘 (東京大学)
- 招待講演 2 63
『「法と経済学は時代遅れだ」と言われなかったための処方箋』
 草野 耕一判事 (最高裁判所)
 司会: 太田 勝造 (明治大学)

『 Changing Japanese Contracting Practices Meet Theories of
Relational Incentive Contracts

(日本的取引慣行の変化と関係的インセンティブ契約の理論) 』

チェア 伊藤 秀史 (早稲田大学)

パネリスト 宍戸 善一 (一橋大学)

Trond E. Olsen (NHH)